

平成 23 年 1 月 1 日から平成 28 年 10 月 31 日までに マムシに咬まれて救急外来を受診された患者さんおよびご家族の方へ

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

マムシ咬傷*1に対するプレホスピタルでの対処法および医療施設での治療法、および予後についての実態調査

*1: マムシ咬傷(まむしこうしょう)とは、北海道から九州までに生息する毒蛇(どくへび)の一種であるマムシに咬まれて発症する病気のことです。咬まれた部分の張れ、血圧の低下、出血しやすくなる状態となり、重症の場合は亡くなることもある病気です。

【研究背景・目的】

本研究では、マムシ咬傷の患者さんが救急外来を受診され治療する際の、診察方法や治療法の方針を作りあげていくために、マムシ咬傷により救急外来を受診した患者さんの受診時の状態や背景、治療方法、経過の調査を行います。この研究は、埼玉医科大学病院救急科を中心として、全国の救急医療施設約 150 施設が共同で行う研究です。

【研究期間】

この研究期間は、平成 29 年 3 月 22 日～平成 30 年 3 月 31 日までです。

【研究対象】

- ・対象者数 : 飯塚病院 10 名 (共同研究全体 500 名)
- ・対象期間 : 平成 23 年 1 月 1 日から平成 28 年 10 月 31 日まで。
- ・対象者 : マムシに咬まれて飯塚病院救急外来を受診された患者さん。
- ・取得情報 : 年齢、性別、診療科、緊縛、シーネ固定の有無、受傷～来院時間、受診までの経過、初診時の意識レベル、バイタルサイン、四肢の腫脹の有無と範囲、複視や眼瞼下垂などの眼症状の有無、その他の症状、初診時の臓器障害、入院治療の有無、治療薬使用の有無、予後。

【研究方法】

上記情報を過去に遡り収集を行い、データベース化の後、解析を行い検証します。

【研究対象となる患者さんへの利益・不利益】

利益：本研究により患者さんが直接受けることができる利益はありません。しかし、本研究の目的とするところが明らかになると、将来、将来、マムシ咬傷患者さんの初期の病態把握や救急外来での治療方法の検討等、社会的な利益につながるものと考えられ、より効果的な治療を開始できる可能性があります。

不利益：本研究は通常の診療により得られた情報のみを用いる研究であり、収集したデータに関しては、匿名化を行って使用しますので、患者さんご本人への直接的な不利益が生じることはありません。

【利益相反について】

この研究は、埼玉医科大学病院救急科を主管施設として実施する多施設共同研究です。本研究を行うに当たり、飯塚病院および研究担当の医師へ埼玉医科大学病院救急科やその他外部からの資金提供はありません。しかし、本研究を担当する医師のなかには、この研究以外において企業、外部から研究資金、講演会講師料、旅費等を受けている者もいます。この研究は「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」に基づき飯塚病院倫理委員会の承認を受けて適正に行われる。資金の提供があっても金銭的な利益やそれ以外の個人的な利益のために専門的判断を曲げることはありません。

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【研究組織】

〈埼玉医科大学病院〉

研究責任者：埼玉医科大学病院救急科 教授 上條吉人

連絡先：〒350-0451 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

TEL：049-276-1228 FAX：049-276-1682

〈飯塚病院〉

研究責任者：飯塚病院 救急部 部長 奥山稔朗

研究分担者：飯塚病院 奥山稔朗、八木健司、山田哲久、由茅隆文

ih 飯塚病院

innovate and evolve

【問い合わせ先】

〒820-8505

福岡県飯塚市芳雄町 3-83

飯塚病院 救急部 奥山稔朗

TEL : 0948-22-3800 (代表)